

2022年9月5日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本サービス業PMI®

及び、auじぶん銀行 日本複合PMI®

サービス業、新型コロナの感染拡大で事業活動減少

主な動向

事業活動が3月以来の減少を記録

新規事業停滞

購買コストのインフレ、依然記録的な高水準

データ収集期間：2022年8月12～25日

日本のサービス業では8月、縮小率は小幅であったものの、事業活動が再び落ち込んだ。新型コロナの感染拡大が顧客需要を圧迫し、新規事業も停滞したことが要因である。海外新規事業については、7月とほぼ変化なしだった。全体的に需要が低迷し、再び到来した新型コロナの感染拡大の波に対する懸念が事業の見通しを3か月間の最低値へと押し下げた。企業らは雇用に対しより慎重な姿勢をみせ、従業員数は広く変化なしだった。

価格関連のデータによれば、企業らは引き続き単価を小幅上昇させており、日本のサービス業全体でみると購買コストは若干緩やかになるもいまだ顕著な増加がみられた。

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、S&Pグローバルがサービス業約400社からの調査回答を基にまとめたものである。対象セクターには、消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれる。

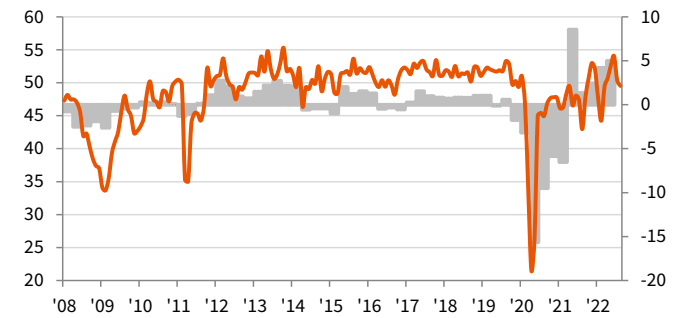
主要指標はサービス業事業活動指数で、事業活動量が前月比でどう変化したかを示す。数値が50を超えれば全体として前月比で増加したことを、50を割り込めば減少したことを意味する。

8月の主要指数は7月の50.3から49.5へと減少し、日本のサービス業の事業活動が3月以来となる減少を示した。しかし減少率はわずかで、2022年初頭にみられたほど急激ではなかった。

調査回答企業の多くは、直近の新型コロナの感染拡大が最新の

サービス業事業活動指数
季節調整済み、>50 = 前月比で増加

家計サービス支出
前年比(%)



調査期間で事業活動と需要を圧迫したことを指摘した。8月は特に、3か月上昇が続いていた新規事業が停滞した。一方、輸出売上は8月広く安定した様子を見せ、3か月連続の減少から若干改善した。

新型コロナの感染拡大と、需要と業況に対する影響が長期化することが懸念され、今後一年の景況感に大きく影響した。企業らは概して事業活動が今後12か月で増加すると予測したが、楽観的な景況感は8月、過去3か月間の最低値へと低下した。

また、雇用の増加は第3四半期半ば、ほぼ横ばいだった。サービス業では雇用者数が若干増加したが、過去7か月間で最も低水準だった。企業の実態をみる限り一部の企業で雇用増加がみられるも、他社で任意退職の補充が無かったことや病欠で一部相殺された。

7月に若干減少した受注残については、サービス業は8月増加したことを指摘。調査回答企業らによると、原材料不足と需要の増加により生産能力に圧力がかった。しかし、受注残の増加はわずかだった。

インフレ率が過去4か月間の最低値へと低下したにもかかわらず、日本のサービス業の平均購買コストは8月、引き続き著しく上昇した。企業らはエネルギーや燃料、原材料の価格高騰をコストの増加の要因に挙げた。サービス単価は7月よりも若干加速しつつ、緩やかなペースで増加した。

auじぶん銀行 日本複合PMI®

8月の民間企業事業活動は再び縮小

製造業とサービス業の複合生産高を測るauじぶん銀行日本複合*PMI生産高指数は7月の50.2から減少して8月は49.4となった。最新のデータは、生産高が再び減少し、5か月連続に及んだ成長が途絶えたことを示す。縮小傾向は総じて製造業とサービス業の両方の停滞によるものだった。

同時に新規受注数も若干ではあるが、2月以来の減少をみせた。新規輸出受注が大幅に減少し、需要は日本国内外ともに減少した。

物価に関しては、インフレ圧力が和らいだが調査史上では高い水準で推移している。コストの増加率は過去5か月間で最も低水準に低下。製造業の販売価格が安定へと推移したことで、販売価格の上昇が4月以来最も緩やかになった。

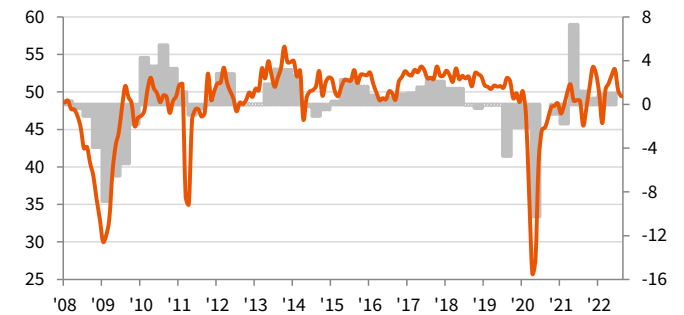
8月の雇用増加率はわずかで、雇用成長は民間企業全体で緩やかになった。それでも、サービス業の受注残は再び上昇をみせ、複合受注残指数は小幅増で推移した。

楽観的な景況感は3か月間の最低水準へと低下したものの、今後1年間の生産高見通しは堅調だった。

* 複合指数は製造業とサービス業それぞれの指数を加重平均したものである。加重値は、GDP公式データに基づく製造業とサービス業の相対的規模を反映している。日本複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業活動指数の加重平均である。

複合生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

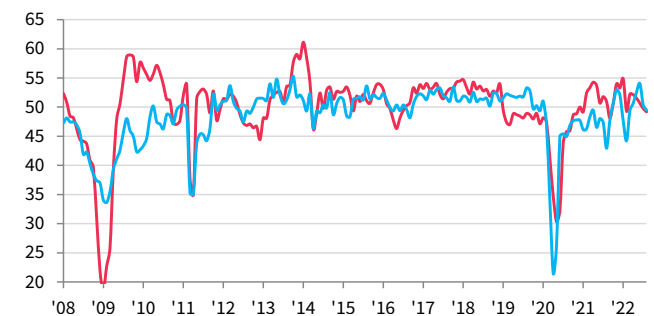
GDP
前年比(%)

出典: auじぶん銀行、S&Pグローバル・インク、内閣府

製造業生産高指数

サービス業事業活動指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加



出典: auじぶん銀行、S&Pグローバル・インク

コメント

S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス、エコノミクス・アソシエイト・ディレクターのAnnabel Fiddesによる最新調査結果のコメント

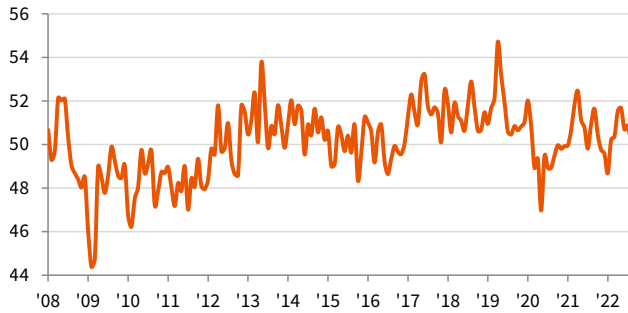
「日本の民間企業の業況は8月、新型コロナウイルスの感染拡大により再び縮小傾向に転じた。生産高と新規受注数の減少は若干だったが、2月以来はじめてであった。

調査データは、サービス業の事業活動と製造業の生産高は共に再び減少したことを示した。製造業の減少は2021年9月以来最も急激だった。しかしサービス業は、新型コロナウイルス関連の制限措置が後に大きく緩和されたことで、感染拡大がみられた2022年初頭よりも事業活動の減少は緩やかだったことを報告。

とはいえ、新型コロナウイルスの第7波、強いコスト圧力や世界経済の見通しの悪化に直面する日本では、民間企業は今後数か月にわたって厳しい状況に置かれそうだ。」

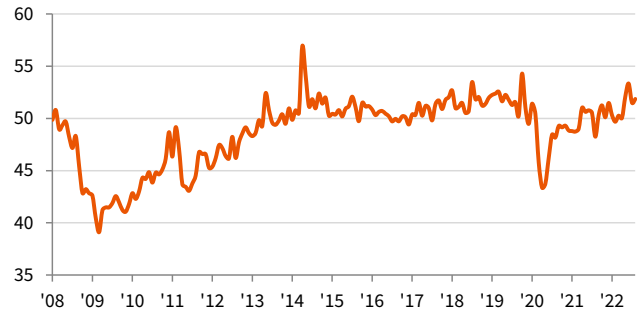
サービス業雇用指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加



サービス単価指数

季節調整済み、>50 = 前月比で上昇



お問い合わせはこちらどうぞ

auじぶん銀行
Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Annabel Fiddes
 エコノミクス・アソシエイト・ディレクター
 S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス
 電話: +44-1491-461-010
annabel.fiddes@spglobal.com

SungHa Park
 コーポレートコミュニケーションズ
 S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス
 電話: +82 2 6001 3128
sungha.park@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本サービス業PMI®は、S&Pグローバル・インクがサービス業約400社からの調査回答をもとにまとめています。対象セクターには消費者サービス(小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービス等が含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数(ディフュージョン・インデックス)です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したもとなっており、複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2022年8月のデータ収集期間: 2022年8月12~25日。

PMI(購買担当者指数)

購買担当者指数™(PMI®)調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インクに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。S&P GlobalはS&P Global Ltd.及び/又はその関連会社の登録商標です。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料(「コンテンツ」)の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー(「コンテンツプロバイダー」)は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落(疎漏など)、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失(喪失利益や逸失利益、機会費用など)について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by S&P Global

© 2022 S&P Global

auじぶん銀行日本 PMI のスポンサーは auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバル・インクについて

S&Pグローバル・インク(NYSE: SPGI)は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモディティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください: www.spglobal.com

S&Pグローバル・インクのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobalへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。